

集会アピール

連合は、1997年から続く賃金の下落に歯止めをかけ、内需主導型の経済への転換、デフレからの脱却を目指して2012年春季生活闘争を展開してきた。また、内外を問わない、熾烈な企業間競争勝ち抜くための源泉は人財であり、これへの積極的な投資をも主張してきた。

これに対し、経営側は目先の企業利益に拘泥するばかりであり、日本の将来をどうするかについて、明確な考えを示さないまま今日に至っている。

我々は、3月9日に開催した中央闘争委員会、共闘連絡会全体会議にて、3月14日の最大の山場に向けた意志固めをした。その上で、最大の山場の前段の13日に有志共闘が回答を引き出して最大の山場につなげ、そして第一先行組合、第2先行組合の回答引き出しへと切れ目のない闘いを進めてきた。

また、社会的相場の形成・波及に向けて、記者会見をはじめとしたマスコミ対策を講じ、ホームページ上で情報開示を行ってきた。

3月30日の集計では、賃金に加えてパートタイム労働者の時給引上げ、一時金、退職金、60歳以降の雇用確保、ワークライフバランスの実現などについて一定の前進がみられた。

労働力人口の減少に突入した今日では、産業間、規模間、地域間での人財獲得競争の激化が予想され、人財投資に躊躇することは許されない。

グローバル競争下におけるコスト削減のみを追求する経営姿勢からの脱却を図り、労使の健全な危機感を基にした目標を達成するには、従業員への適切な分配が必要不可欠である。

未解決組合は、積極的に適正な分配を求めるとともに、中小組合にあっては賃金カーブの維持に加えて格差是正の取組みを進めなければならない。

未解決組合の解決に向けて次の通り取組みを強化しよう。

- すべての未解決組合は、先行して解決した組合の実績を踏まえ、賃金カーブ維持分の確保とこれへの上積みを目指す。
- 構成組織は、未解決組合の交渉を促進し、4月末までの解決を目指す。
- 構成組織と地方連合会は連携して地場共闘を強化し、積極的に地方における相場形成を図る。

以上アピールする。

2012年4月3日

2012年春季生活闘争共闘推進集会